

(3) 身近な水環境の全国一斉調査

1) 身近な水環境の全国一斉調査とは

河川や水辺など身近な水環境の保全や再生に関する市民の意識が高まる中、1980年代半ばから、市民や学校の子供たちによる身近な川の一斉調査が多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきた。しかし、当初は調査の方法、項目の不統一、測定精度が保証されないなどの問題点があり、市民調査の有効活用は難しい状況であった。

統一的な調査マニュアルが作成され、これに基づいた一斉調査として「身近な水環境の全国一斉調査」が実施されるようになったのは平成16年からであり、その後毎年、市民団体等が協働で全国の河川や水辺など身近な水環境の水質を一斉に調査し、「全国水環境マップ」としてとりまとめた結果を公表している。

2) 調査のまとめ

平成29年の調査の概要は以下のとおりである。

表-28 身近な水環境の全国一斉調査の概要

	全国統一日に 実施された調査	国内で実施された 全ての調査	備考
調査日	平成29年6月4日(日)	平成29年5月12日 ～7月13日	—
参加団体数	411団体 (個人参加含む)	758団体	平成28年は 750団体
調査地点数	2,418地点	6,124地点	平成28年は 5,270地点

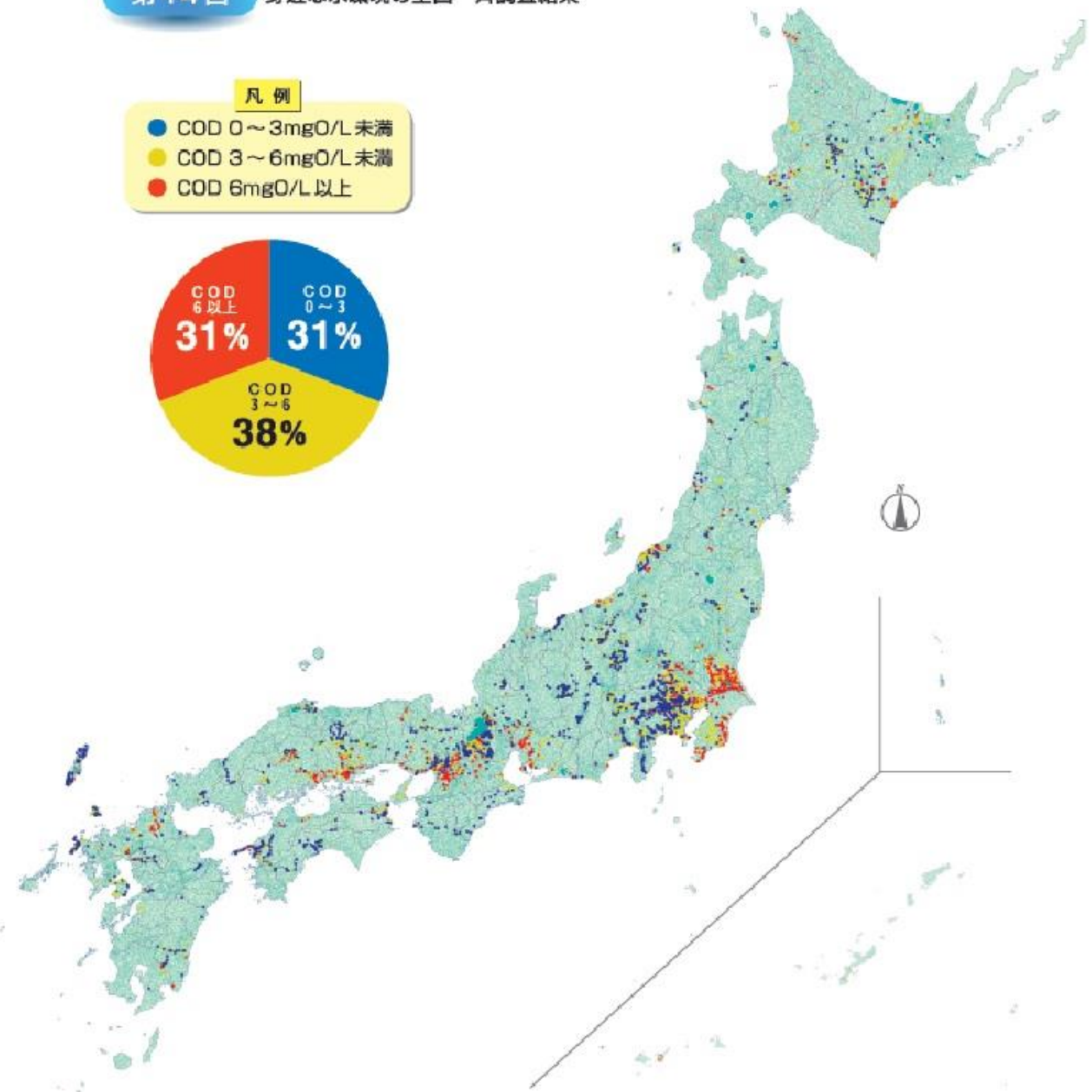
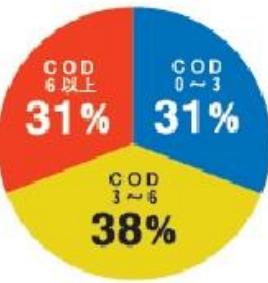
平成29年調査ではCODの水質結果では、全国のデータの割合がCOD0～3mg/L未満が31%、3～6mg/L未満が38%、6mg/L以上が31%となった。近年は定点調査地点の水がないという調査票への記載があることがあり、平成29年調査においても約60地点で報告があった。このような報告も河川水量の変化の記録として失するものであるので貴重な記録と言える。

平成29年の全国水環境マップを図-26に示す。

2017全国水環境マップ

第 14 回 身近な水環境の全国一斉調査結果

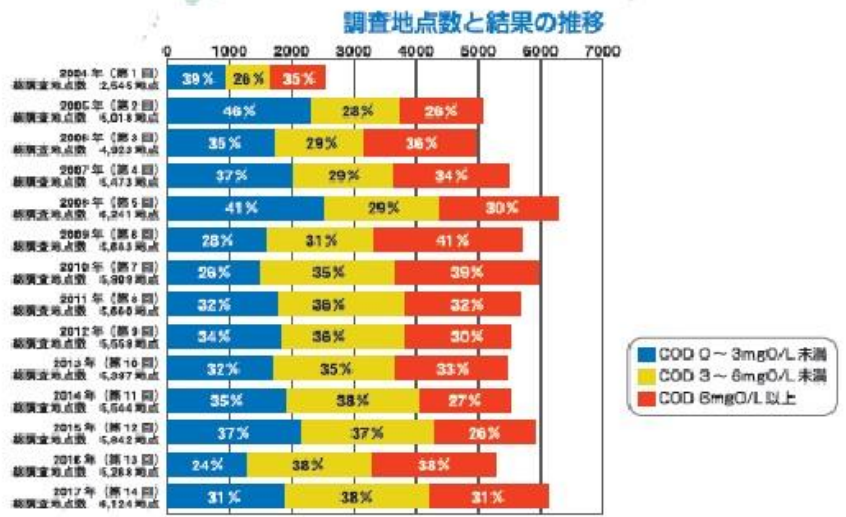
- 凡 例
- COD 0～3mgO/L 未満
 - COD 3～6mgO/L 未満
 - COD 6mgO/L 以上



2004全国水環境マップ

第 1 回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

- 凡 例
- COD 0～3mgO/L 未満
 - COD 3～6mgO/L 未満
 - COD 6mgO/L 以上



- 凡 例
- COD 0～3mgO/L 未満
 - COD 3～6mgO/L 未満
 - COD 6mgO/L 以上

図-26 全国水環境マップ